

この人に聞く

第40回

今回のインタビューは、かいた七夕さん実行委員会委員長である、田川房雄さんをお願いしました。

聞き手／西田祐三 委員



「かいた七夕さん」由来についてお聞かせください。

一九九五年七月海田町民文化振興会の第二回「七夕フェスティバル」として産声を上げました。昨年からは名称も「かいた七夕さん」と変わり、今年は第十二回となります。昔ながらの色紙や短冊に願い事や夢を書いての笹飾りは、町内各保育所、幼稚園の子どもさんも楽しみにしています。

参加者が年々増えているそうです。

地域の方々が年に一度のふれあいの時間を楽しい交流になるように協力してくださること、子どもさんか

夢や願いをこめた七夕さん

かいた七夕さん実行委員会委員長

田川房雄さん

ら年配の方々の各種団体からの実行委員さんがおられること、会場も整備されて美しくなった瀬野川、畝公園、自然豊かな日浦山など暮らしやすい町づくりの環境が整い、皆さんも集まりやすいことではないでしょうか。

準備運営もご苦労が有りだと思いますが。

実行委員会メンバーは、十八団体各所属に代表者がおられます。特にステージ、バザー部会の委員長さんにはご苦労をお掛け致します。皆さん役割分担を持ち、準備から後始末に汗を流して飛び回っていらっしゃいます。翌日に最後の掃除をして終了しますが、さすがにこの時は皆さん疲れてフラフラで声も出ません。



2004年のかいた七夕さん

運営資金の調達方法はどうか。

実行委員会の皆様からお願いをしていただき、皆様の協賛金で事業が成り立っております。協賛金の中から舞台、音響設備、また花火

を打ち上げています。これからも皆様方のご寄付、ご厚意に甘えながら継続できますことを願っております。

「かいた七夕さん」を通じての思いはどのようなこととが有りますか。

暮らして良く、外から来てもらって良い地域は環境が整い、美しさ、優しさは伝わってきます。「かいた七夕さん」を通して、遊び心やゆとりの中からみんなで知恵を絞り特徴のある元気な町になりましますように、夢や願い事を一緒に語りましょう。

今年は七月九日(土) 畝公園・瀬野川河川敷で開催されます。